学校番号	3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「論理国語」（第一学習社）						
副教材等	新訂版常用国語便覧（浜島書店）・〈五訂版〉漢字検定 5～2 級対応常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実社会で必要な文章を「読む能力」「書く力」を、言語活動を通して身に付けることを目標とします。様々な評論を通し、自分の意見を持つだけではなく他者とのやり取りを通して視野を広げていく。

文章を正確に読み取るだけではなく、一つ一つの問題について自分の意見や考えなども整理しながら評論を読み進めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることがきるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深る。 ［教材］ 人間という中心と、それよりも〈軽い命〉	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・具体（例示）と抽象 意見）の関係を整理して論理構成を把握し、言語と認識の関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する ［教材］ 言語が見せる世界	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解する。 b[書]:自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 c:学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ［教材］ 身体の個別性	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b[読]:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c:人間は本源的な自己中心性にとらわれていることを指摘した評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理展開や要旨を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・主張に説得力を持たせるための論展開を捉え、筆者の抱く「いのち」の概念について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。	a:読書の意義と効用を理解する。 b[書]:文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 c::「いのち」と「生命」の違いを示しながら筆者の主張を述べる評論を粘り強く読み、学習課題に沿って段落構成を分析し、各段落の要旨をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

	［教材］ いのちのかたち				
2	・リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ［教材］ リスク社会とは何か	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・「コスモポリタニズム」の定義や筆者の主張を理解し、グローバル社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・グローバル化する社会での生き方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ［教材］ コスモポリタニズムの可能性	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]:自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 c:「コスモポリタニズム」という考え方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や要旨を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・ジェンダーをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ・社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ［教材］ ジェンダー化された身体の行方	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[書]:社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 c:現代の日本社会における問題の一つであるジェンダーについて述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・ジェンダーをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ・社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 ［教材］ ヒトの進化と現代社会	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[書]:社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
3	・筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	定期考査	定期考査	提出物 授業態度

	捉え、身の回りの制度について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ［教材］ 目に見える制度と見えない制度	b[書]:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c:学習課題に沿って、身の回りにある「制度」の目的や役割についてまとめ、積極的に説明しようとしている。		提出物 ワークシート	
	・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深める b[読]:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c:積極的に本文の表現上の特徴を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・明治期の論説文における文語文体に触れ、時代背景をふまえながら筆者が主張する内容を理解する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 ［教材］ 漫罵	a:読書の意義と効用を理解する b[読]:文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 c:積極的に明治期の文語文の漢文訓読体の特徴を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間